

(回) 本日本支那の全土は熱狂的に國際労働日を祝賀し、重慶は労働者の祝祭参加を認める旨聲明した、工人の献金競争が行はれ、前南京市長、現社會部次長は午後五時中央放送局より中國工人に對するメッセーヂを放送した、其の後中央短波放送局は特別プログラムで放送し午後十一時にはソヴェイト労働者に對し挨拶を送った。大會は四つの決議 (一) 蔣介石を尊敬することを誓約し、前線の戰士を慰問すること、 (二) 被占領地域の工人が日本側及び傀儡のために働くのを諫止すること、 (三) 全國の工人に對し生産増進を助けるよう勸告すること、 (四) 世界の労働者組織に對し物質的、道徳的對支援助を感謝し、夫々の政府に對して日本非難を提訴するよう勸告すること、 を採擇した。世界の労働者に對し「日本匪賊が侵略を固執する限り吾人は抵抗を停止しない、吾人は如何程の困難にも耐へる覺悟をしてゐる、吾人は全世界の労働者に對し、我々の目的を支持して、我々の抗戦を助ける組織的、計畫的行動を採用せられるよう訴へる」との提訴も發せられた。

極秘

内閣情報部五・五 情報第四號

重慶支那語放送 (臺灣總督府交通局遞信部聽取)

四月三十日

一、香港二十九日電

上海消息、先頃日本より上海に來着した某外人記者の談に依れば四月初旬日本各重要都市に於て學生の騷擾事件が起り到る處集會を催して講演を行つた外標語の宣傳ビラを撒布した其の標語は

- (1) 文相荒木の思想に對する不合理なる統制に反對せよ
 - (2) 軍閥の對華侵略及戰捷を能筆と爲すに反對せよ
 - (3) 政府の人民に對する壓迫又は自由制限に反對せよ
- 一時學生の氣勢は浩大且熾烈にして日本朝野の人士に異常なる衝動を起し特に國議に依り板道を推して各地へ派遣して説得せしめ返垣は學生に對し凡ゆる威壓又慰撫を行つたが學生は何れも相手にせぬと言はれてゐる

一、天津二十九日路透電

華北準備銀行の紙幣は連日以來暴落し現在に至るも尙相場なく確實の消息に依れば昨日

本側より特務機關の人員若干名を洋服姿で英佛租界に潜入せしめ聯銀券の兌換を營業する者に對し凡ゆる威嚇を爲し若彼等が直ちに營業を停止しなければ將來生命が必ずや危険に瀕するであらうと放言し又日本人が銃を以て威嚇した事が數件あつたと云はれる

五月一日

二神門三十日電

貴池、前江口に蟠踞せる敵は清水師團志願隊の所屬にして最近部内の官兵は非常に動搖を來して居り聞けば本月中反俄運動に参加した事に因り四十名が逮捕され首魁者原田、山口兩人は一昨日秘密裏に審問され死刑に處すると判決を言渡されたが原田等は己に自殺を遂げ情況は極めて慘憺であるが他の官兵は之を聞き非常に憤激し事態益々擴大せんとしてつあり又聯隊長も軍前に防ぎ得なかつた事に因り嚴重譴責されんとしてゐる

内閣情報部五・五

情報第五號

成都支那中央通信社報(二日)
一重慶報

(朝鮮總督府遞信局轉取)

「今日の儀式は國民精神總動員運動の開始を示すべきもので、吾人は國民盟約を完全に履行することを宣誓しなければならぬ、又吾人は吾々の敵に對して報復するため努力を倍加することを宣誓しなければならぬ」と大元帥蔣介石は昨夕彼が全國委員會の議長となつてゐる國民精神總動員の人民月例會發會式に際して全國民へのラデオ演説で宣言してゐる。中國の最高指導者は國民が彼の響き亘る聲に響き入つてゐるとき「二十二ヶ月の抗戦によつて既に中國勝利への道はしかれたが、吾人は決して油断することなく、自信を以て抗爭續行の努力を倍加すべきである、吾々が前線、銃後或は被占領區域にあることを問はず各人が國民盟約を完全に遵守し、國民精神總動員運動を實行すべき時は來た、吾人は新たに生活を開始しなければならぬ、又日本は各人をして我々が立派な國民としての生活を爲さねばならぬことを決意せしめるべきである、精神的動員は敵に對する最も有效な武器である、この精神的な國民の優越は物質的なそれより遙かに効果的で怖るべきものである」と述べた。尙人民月例會の意義を説明して蔣介石は「この種の會合は我々が時々次の真柄を反省する警めとなる、即ち敵